

# 八ヶ岳通信

尖石考古館一

## 尖石遺跡発掘の歩み室

尖石考古館というと、縄文のピーナスをはじめ多くの縄文土器だけが展示されていると考えられがちですが、第2展示室の「発掘の歩み室」も本館の誇るものです。宮坂英式先生のご遺族から寄贈された貴重な資料を中心に、今日の尖石遺跡や尖石考古館の礎となつた多くの資料を展示して、昭和前半の発掘の歩みを示すとともに、日本の考古学の発展にどんなに大きく寄与してきたかを考えようとしています。



尖石遺跡発掘の歩み室

終戦までは日本の歴史は神話に基づくものでした。そんな中でわが国の考古学がどんな発展をしてきたか、発掘に魅せられた宮坂先生がどのように住居址の存在を知り、研究を進められて、尖石の「むら」の様子を調べられたかなどという研究の姿勢は、考古学の世界だけでなく、人間の生き方として大切なことです。

尖石遺跡は明治20年代に開墾によって遺跡として知られるようになりましたが、小平小平治・雪人の兄弟によって集められた、珍しい遺物も少なくありません。発掘の経験もなかった宮坂先生が、大変な苦労をされながら手さぐりで考古学研究をされてきた資料、また尖石遺跡の発掘を聞き知って大勢の研究者が尋ねてきたり、考古学その他に名を残した人たちとの交友の資料、結果的には宮坂先生の偉さからもきたでしょうか、先生を理解し支え今日あらしめた多くの人たちの資料、今日の尖石遺跡や尖石考古館



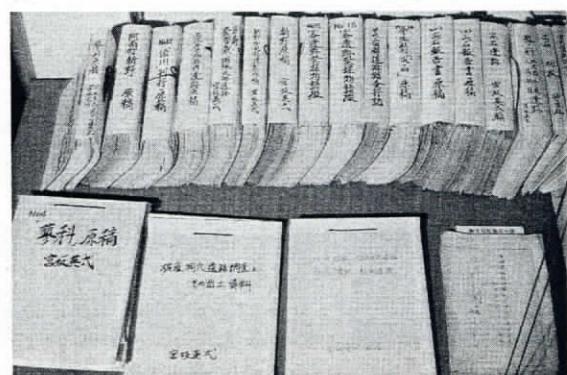
宮坂先生自作の土器実測具

の礎となつた膨大な資料などは本当に得がたいものです。展示項目として

- ① 尖石遺跡の開墾と遺物収集の時代
- ② 炉址発掘の時代
- ③ ミネルバ論争の資料
- ④ 初の住居社発掘
- ⑤ 尖石集落の発掘
- ⑥ 与助尾根遺跡の発掘
- ⑦ 尖石遺跡が特別史跡になる
- ⑧ 尖石考古館の歩み
- ⑨ 発掘を助けた人々
- ⑩ 宮坂先生の業績
- ⑪ 宮坂先生の遺品（研究用具、日記、俳句関係等）

があります。

日本考古学の歴史に欠かすことのできない大切な資料と、人間宮坂英式先生の足跡が生のままで見ることのできる資料室ですので、大勢の方の観覧をお待ちしています。



膨大な直筆の原稿

## 常設展に遊びにおいてよ



第十三回小中学生展絵画の部から  
宮坂裕太くん(宮川小)

茅野市美術館では、昭和55年7月の開館以来十余年にわたり、地元の作家の方々を中心にお品の寄託をお願いしてまいりました。これは、財政力の弱い地方の美術館が、莫大な購入予算も長期の収集期間もなく開館し、壁面作品から立体作品に至るまで、作品の多寡は別として展示ができたことは、大変ありがたいことです。

寄託の作品が美術館にあることで、作者はも

とより、知り合いの方々を美術館に案内していただき、館との「ふれあい」の仲だちをしていただきました。

また、多くの方々のご好意と関係者のご努力により、数多くの作品を収蔵することもできました。

そこで本年度は、収蔵作品の整理を兼ね、収蔵品による常設展を開催しました。

展示は寄贈や購入された作品を、日本画、洋画といった部門ごとに、数のある同一作家の作品は、作家のコーナーを設けるなど、より多くの作品を観ていただけるよう展示替えをしています。

現在、洋画では中川紀元の「黒衣の女」、早出守雄の「残雪」、宮芳平の「母と子Ⅰ」とⅡ、矢崎牧廣の「ハルピン風景(1)」、日本画で矢沢弦月の「池畔春意」など彫刻、工芸や書について、地元にゆかりの作家を中心とした作品61点を展示中です。ぜひご覧ください。

### おも 美術館は興しそうい

企画展の1つである小中学生作品展の絵画や書の展示にも足を運んでみてください。

同じ所で絵を描いても、同じ字を書いても、それぞれに異なった趣を画面が話りかけてきます。座った位置、筆の太さが違うだけで、作品も、観る人の感じ方も変わってきます。作者を知っていれば、親しみも一層わいてきます。

自分の作品の前で、兄弟と父母が記念撮影する光景は、ほほえましいものがあります。

また、美術館の施設を利用していただくこともできます。館の運営のため、貸室として利用いただける時期などに制約がありますが、個人やグループの作品の発表の場として利用いただけます。利用することにより、激励や批評を受け、技芸やその他色々な面で、教わるところが大きいとも聞いております。

1人でも多くのの方の、お問い合わせをおまちしています。

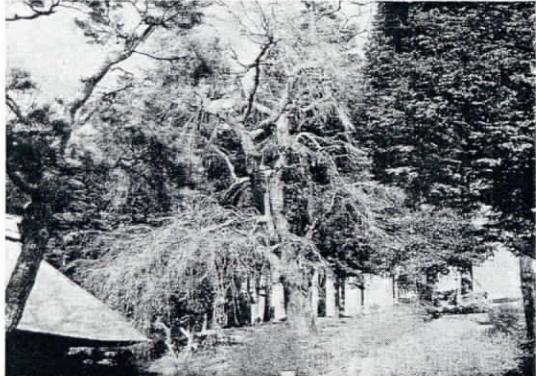


貸館 第3回研水展より

せぎかいさく

# 山浦地方の汐開削の功労者 坂本養川を偲ぶ

北久保の古御堂にある市の天然記念物のしだれ桜は、田沢の社宮寺の桜と、後に養川の墓所となつた場所とが三角形になるため、実測の基点として目印に植樹したものと言われています。  
桜の季節にはまだ早いですが、ちょっとお散歩しませんか。



↑北久保の古御堂のしだれ桜。土手の上にはいろいろな神様が祀られています。



⇒田沢の社宮寺の桜。ここの裏手に、養川一族の墓があります。



⇒養川の眠る墓。立派な石塔は彼の子孫が建てたもので、当時の面影を残すのは土台の石垣のみで、そこにはイチイの木が植えられていたそうです。またこの墓地には「坂本養川建」と書かれた馬頭観音があり、その脇に桜はあります。

養川の墓はもうひとつあります。諭訪市四賀神戸の頼重院というところの供養碑がそうです。

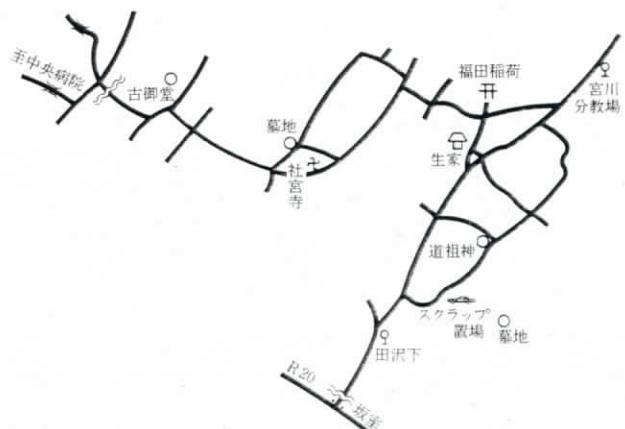


⇒養川の生家と福田稻荷社の間にある養川の頌徳碑。福田稻荷社の拝殿は市有形文化財になっています。祭神は倉稻魂神といふ稻をつかさどる神様。養川の3通目の汐開削願書にここの神様のおつけがあったと記されているのは稻の神様だからでしょうか？



↑養川の一族の墓。ここから古御堂の赤い屋根が見えます。

## 〈案内図〉



## 守矢文書の整理進む～約1,500点の史料を確認～

茅野市教育委員会では、9月29日～11月3日まで、藤沢市在住の武井正弘氏（民俗芸能史研究家、諏訪研究会発起人）の指導により、諏訪研究会、博物館協議会、文化財審議委員会の皆さんのご協力を得て、守矢文書の整理をし、仮目録を作成しました。

守矢文書は、諏訪地域、長野県の歴史を探る上で重要な文書で、155点が県宝に、50点が市の有形文化財に指定されています。

茅野市史を発刊するときの調査で、守矢文書は、約940点ほど認められていましたが、今回の整理で、それよりも560点ほど多い約1,500点が現存することを確認しました。

古いものでは、約800年の時を



整理作業風景(写真提供 茅野市民新聞社)

越えてきた守矢文書。これだけの物が、なぜきれいに残っていたのか。中世、近世に生きたそれぞれの当主が大切に遺してくれたこと、そして、先代の守矢家当主の真幸氏が、これらの文書は、守矢家だけの財産でなく、みんなの財産であるからと、自ら特に古い文書の補修に力を入れたことにあると考えられます。

現当主の早苗氏は、先代の志を引継ぎ、守矢文書の一般利用を望んでおられます。神長官守矢史料館では、守矢氏と、守矢史料の公開を望む市民の皆さんのためにも、今回作られた仮目録をもとに一日も早く本目録を作成し、整理資料を閲覧できるよう準備を行っています。

## こんなことも行いました 一平成5年度事業報告一

〈考〉:尖石考古館、〈博〉:総合博物館  
〈美〉:美術館、〈史〉:守矢史料館

### 4/1～ 博物館学習会員の募集(博・考・史)

- ロビー展 (4/18～3/16・順不同 途中  
ロビーエクスペリエンスコーナーに改称) (博)  
小鳥の巣箱作り(2回)  
藤細工(2回)  
機織(9回)  
火きり作り(2回)  
竹トンボ作り(2回)  
水の中の生物(1回)  
石細工(2回)  
小鳥の餌台作り(2回)  
まゆ人形作り(1回)  
しめ飾り作り(1回)  
たこ作り(1回)  
糸つむぎ(1回)  
わらぞうり作り(2回)  
はくせいの展示(8/1～8/29)

- 5/15 ミュージアムコンサート(博)  
ボランティア講座(博)  
5/30 講演会「茅野の歴史」  
6/27 講演会「茅野の気象」  
7/25 講演会「歳月を共に過ごしたキ  
ツネたち」  
8/29 講演会「タウンウォッキング」

### 9/19 講演会「諏訪の山城」

- 10/31 講演会「小動物について」  
11/28 「国立科学博物館ボランティア  
活動参観」  
6～10月の第2土曜日曜日  
土器製作研究(尖石友の会)(考)  
6/11～7/9 スケッチ講座(全6回)(美)  
6/13～6/26 繩文土器製作教室(考)  
6/16 美術館めぐり  
(横浜美術館)(美)

- 7/13～7/18 第35回茅野市美術展(美)  
7/24～8/22 西村豊写真展(博)  
7/30～8/22 楠方志功展(美)  
8/3～8/29 企画展「守矢文書と中世の村」  
(史)  
博物館活用指定学級(博)  
8/25・26・27 永明小6学年  
「土器作り」  
9/2 湖東小3年2組  
「まゆから糸を取る・まゆ人形作り」  
9/22 豊平小2学年  
「牛乳パックで紙すき」  
10/20・10/21 米沢小6学年  
「遺跡発掘現場の見学」

### 12/16 湖東小5学年

- 「わら細工 しめ飾り作り」  
1/19 永明小4年2組  
「テングサからとこでんを作ろう」  
1/20 豊平小3学年  
「テングサからとこでんを作ろう」  
2/10 米沢小4年2組  
「テングサからとこでんを作ろう」  
2/17 米沢小4年1組  
「テングサからとこでんを作ろう」  
10/3 化石博物館見学と化石採集(博)  
10/16～11/14 民俗資料収蔵品展(博)  
「着る」  
10/17 繩文土器野焼き(考)  
11/5～11/24 第13回茅野市小中学生作品  
展・絵画の部(美)  
11/6 星空観察会(博)  
11/27～12/12 研究・創造工夫展(博)  
12/12 冬の探鳥会  
(諏訪湖の水鳥観察会)(考)  
1/15～3/6 古文書解説講座  
(全8回)(博)  
1/23～2/8 第13回茅野市小中学生作品展・  
書写の部(美)  
2/6 映画観賞会「水の旅人」(博)